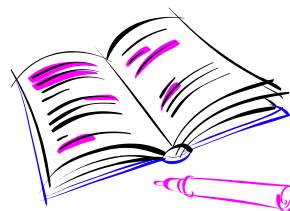


# 消費者相談室から



## 26年度の相談の傾向をお知らせします

平成26年度に荒川区消費生活センターに寄せられた相談件数は1,262件でした。高齢者に関する相談は323件で、平成25年度に比較して15件

(4.8%)の増加でした。

特に70歳以上の相談は、年代別で最も多く寄せられて239件でした。次いで、40歳代が213件、30歳代が191件と続きます。

### ◎ 分類別相談内容

#### ■1位:「デジタル・コンテンツ」に関する相談

4年連続してアダルト情報サイトの相談が最多であり、平成25

年度と比較して37件(23.9%)増加した。動画等を検索していたら、突然会員登録画面になり、高額な料金を請求されたといった「ワンクリック請求」に関する相談です。また、身に覚えがない情報サイトの利用料を請求される「架空請求」に関する相談も寄せられています。

※デジタル・コンテンツとは、スマートフォン、パソコン等のインターネットを通じて得られる情報のこと。

#### ■2位:「フリーローン・サラ金などによる多重債務相談」

平成22年をピークに減少傾向が続いていたが、平成26年度は25年度に比較して12件(12.4%)増加した。債務整理についての相談や、過払い金やヤミ金融などに関する相談です。

#### ■3位:賃貸アパート等の相談

賃貸アパートに係る相談で、退去時の敷金返還や契約更新に関する相談、賃貸住宅の修理に関する相談などです。件数は106件で1件の増加でした。

### ◎ 目立った相談内容

#### ▽高齢者を狙った健康食品の送り付け商法

70歳以上で特に女性を狙った健康食品の送り付け被害が目立ちました。注文した覚えが無いのに「健康食品を代引きで送る」と電話が掛って来たなどの相談です。

#### ▽ファンド型投資商品の契約トラブル

「パンフレットが届いているか？」と電話があり、「書類が届いた人にしか海外不動産は購入出来ないの、あなたの名前を貸して欲しい。売却したら手数料を含め支払うので利益になる」と説明され契約したが、連絡が取れなくなったなど、実体のはっきりしない事業への投資の相談です。

26年度相談の多かった内容

順位	商品役務別相談内容	件数
1	デジタル・コンテンツ(アダルト情報サイト等の不当請求)	192
2	フリーローン・サラ金による多重債務等	109
3	賃貸アパートの修理費や敷金返還のトラブル等	106
4	携帯電話通信サービスの通信料やモバイルデータ通信等	51
4	結婚相手紹介サービス・興信所・渡航申請サービス等	51
6	インターネット通信サービス(光回線の契約等)	47
7	リフォーム等の工事・建築に関するトラブル	43
8	商品一般(デパート等での購入、電子マネー購入等)	35
9	医療サービス・美容医療サービス・歯科治療等	31
10	パソコンやソフトの製品トラブル等	21